

# HanjaTimes

ハンジャタイムズ

9

令和8年

2026

September

リチウムイオン電池の火災に注意

会社の IT 健康診断

動物園の新しい挑戦

OKINAWA 検定

株式会社ハンジャ・ネットワークス

〒901-2301 沖縄県中頭郡北中城村島袋 480 番地

TEL 050-5810-5929 / FAX 098-989-7715

# モバイルバッテリー、膨らんでいませんか？

身の回りに急増する「リチウムイオン電池」の火災に注意！



私たちの身の回りには、いつの間にか「充電して使う製品」がたくさん増えました。これらの多くに使われているのが、リチウムイオン電池です。小さくて軽いのに多くの電気を蓄えられ、繰り返し充電できる、とても便利な電池です。しかしその一方で、使い方や製品の状態によっては発熱・発煙・発火する危険性があります。

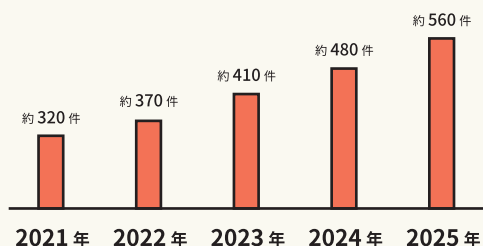
「モバイルバッテリーなんて、みんな普通に使っているから大丈夫」そう思っている方にこそ、ぜひ知っていただきたい話です。



5年間で事故は2,000件以上！



製品事故を調査している独立行政法人「製品評価技術基盤機構（NITE）」によると、2021年から2025年までの5年間に発生したリチウムイオン電池搭載製品の事故は2,140件。しかも、そのうち約85%が火災事故でした。



特に事故が多い製品として、

- ・モバイルバッテリー
- ・スマートフォン
- ・電動アシスト自転車
- ・ノートパソコン



など、私たちが普段から使っている身近な製品が挙げられて

つまり、リチウムイオン電池の事故は決して特殊な話ではありません。

皆さんのカバンの中や机の上にある製品でも起こる可能性があります。

## 🔥 なぜ、小さなバッテリーが燃えるの？

リチウムイオン電池の大きな特徴は、小さな本体の中にたくさんのエネルギーを蓄えられることです。

これは非常に便利なのですが、電池内部でショートなどの異常が発生すると、そのエネルギーが一気に熱へ変わり、急激な温度上昇を起こすことがあります。さらに内部の反応によって温度上昇が止まらなくなる「熱暴走」と呼ばれる状態になると、発煙や発火につながる場合があります。厄介なのは、一度こうした状態になると、非常に高温になり、激しく燃える可能性があることです。「小さい電池だから大したことはない」とは考えない方がよいでしょう。

要注意

## こんな症状が出たら使用を中止！

皆さんのスマートフォンやモバイルバッテリーを、一度確認してみてください。

### ☑ 本体やバッテリーが膨らんでいる

スマートフォンの画面が少し浮いている、モバイルバッテリーのケースが膨らんでいる。

これは内部でガスが発生している可能性があり、**非常に重要な危険サイン**です。



### ☑ 以前より異常に熱くなる

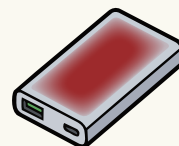
充電中に多少温かくなること自体は珍しくありません。

しかし、「以前より明らかに熱い」

「触るのが怖いほど熱い」

「何もしていないのに熱い」

という場合は注意が必要です。



### ☑ 変な臭い・異音がする

焦げたような臭いや化学薬品のような臭い、充電中の異音など、普段とは違う状態が現れた場合も使用を中止しましょう。



### ☑ 落とした・強い衝撃を与えた

見た目に異常がなくても、内部が損傷している可能性があります。特にモバイルバッテリーを高い場所から落としたり、強くぶつけたりした後は、発熱や膨張などの異常がないか注意してください。



## ★ 夏の車内に「置きっぱなし」は危険です！

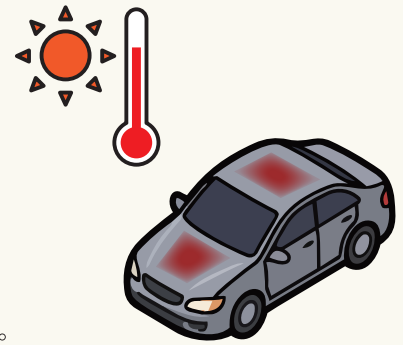
沖縄では特に気をつけたいのが、車内への放置です。

炎天下の自動車内は非常に高温になります。スマートフォンやモバイルバッテリーをダッシュボードなど直射日光が当たる場所に置いておけば、さらに温度が上昇する可能性があります。

NITE の事故分析でも、リチウムイオン電池搭載製品の事故は気温が上昇する春から夏に増加し、8月にピークを迎える傾向が確認されています。

9月に入っても沖縄では暑い日が続きます。

車を降りるときは、「スマホとモバイルバッテリーも一緒に持って出る」を習慣にしましょう。



## ★ その充電方法、大丈夫？

普段の充電方法も見直してみましょう

### 布団やソファの上で充電していませんか？

充電中は熱が発生します。

布団、ベッド、ソファなど熱がこもりやすい場所ではなく、周囲に燃えやすい物がない安定した場所で充電しましょう。

### メーカーが指定・推奨する充電器ですか？

仕様の合わない充電器を使用すると、製品によっては故障や異常発熱などにつながる可能性があります。説明書などを確認し、製品に合った充電器を使用しましょう。

### 壊れた充電器やケーブルを使ってませんか？

ケーブルの被覆が破れている、端子が曲がっている、接触が悪い。

そんな充電器を「まだ使えるから」と使い続けるのは避けましょう。

### 「安いから」で選ぶのもちょっと待って！

ネット通販を見ると、非常に安いモバイルバッテリーがたくさん販売されています。

もちろん「安い＝危険」というわけではありません。

しかし、製品を購入するときには価格や容量だけでなく、安全性についても確認することが重要です。

特にモバイルバッテリーを購入する場合は、「PSE マーク」が表示されているか確認しましょう。

日本ではモバイルバッテリーは電気用品安全法の規制対象となっており、必要な基準を満たした製品には PSE マークが表示されます。

また、メーカー名や問い合わせ先がきちんと表示されている製品を選ぶことも大切です。

毎日のように持ち歩くものだからこそ、

「容量が大きくて、とにかく安い！」だけで選ばない。これも立派な安全対策です。



## ★ バッテリーを普通のゴミに捨てないで！

不要になったモバイルバッテリーや充電式電池を、家庭の普通ゴミなどに安易に混ぜて捨てると、収集車やごみ処理施設の中で電池が押しつぶされたり破損したりすると、発火する可能性があります。

実際、ごみ処理の現場ではリチウムイオン電池による火災が問題となっています。処分方法は自治体や製品によって異なります。

お住まいの自治体のルールを確認するほか、対象製品であれば家電量販店などに設置されている小型充電式電池の回収ボックスを利用できる場合もあります。ただし、膨張・破損した電池は通常の回収ボックスでは受け付けてもらえない場合があります。

無理に分解したり、穴を開けたりせず、自治体やメーカーなどに処分方法を確認してください。



## ★ 「膨らんだバッテリー」眠っていませんか？

社内に使われなくなったスマートフォンやノート PC、モバイルバッテリーなどの充電式機器が眠っていませんか？「長期間使っていないから安全」とは限らず、放置された古いバッテリーが膨張し、重大な事故につながるケースもあります。

リチウムイオン電池は使用していなくても経年劣化が進み、内部ショートによる膨張や発火を引き起こすことがあります。

「使っていないから安全」と思い込まず、定期的に社内の保管品を点検・処分することが、予期せぬオフィス火災を防ぐ鍵となります。

バッテリー事故を防ぐには「まだ使える」より「ちょっと変だな」という違和感を大切にする必要があります。膨らみや異常な発熱、放置された古い製品はありませんか？カバンの中や会社の引き出し・倉庫を点検してみてください。ほんの数分のチェックが、重大な事故を未然に防ぐことにつながります。

# 年に一度はやっておきたい 会社の IT 健康診断

人間は、健康なときでも定期的に健康診断を受けます。

血圧は大丈夫か？悪いところはないか？以前と比べて変化していないか？

では、会社の IT 環境はどうでしょう？パソコン、Wi-Fi、インターネット、メール、サーバー、クラウドサービス……。

今や会社の仕事は、さまざまな IT に支えられています。

ところが、「問題なく動いているから大丈夫」と、何年も同じ状態で使い続けている会社も少なくありません。

人間と同じように、IT も「問題が起きてから」ではなく、問題がないうちに定期的に点検することが大切です。

そこで今回は、難しい専門知識がなくてもできる、「会社の IT 健康診断」をやってみましょう！

## 問診 1 古いパソコンを使い続けていませんか？

会社では、この理由で古いパソコンが長く使われることがあります。しかし、パソコンは「動くかどうか」だけで判断するものではありません。特に重要なのが、**OS のサポート期限**です。Windows 10 は、2025 年 10 月 14 日に通常サポートが終了しました。サポートが終了した OS は、新しいセキュリティ上の問題が発見されても、原則として通常の更新プログラムが提供されなくなります。

ここで注意したいのが、「**普段使っているパソコンだけ確認すればいい**」わけではないこと。

受付に置いてある PC、監視カメラを見るための PC、会議室の PC、倉庫の PC、古い業務ソフト専用 PC など様々ですが、会社の中には、意外と「忘れられたパソコン」があります。一度、社内に何台のパソコンがあるのか確認してみましょう。

## 問診 2 退職した社員のアカウント、残っていませんか？

社員が退職したとき、パソコンや制服、会社の鍵などは返却してもらいます。

では、メールアドレスやクラウドサービスのアカウントは？

Microsoft 365、Google Workspace、kintone、Dropbox、チャットツール、勤怠管理、オンラインストレージなど、今では一人の社員が複数のサービスを利用することも珍しくありません。

退職者のアカウントがそのまま残っていると、情報漏えいなどのリスクになります。また、不要な有料アカウントを削除せず、何年間も料金だけ払い続けていた、ということもあります。

「**入社時に作るもの**」と「**退職時に止めるもの**」を一覧化する。これだけでも、管理はかなり楽になります。

## 問診 3 パスワードを何人も共有していませんか？

例えば、「このシステムは全員この ID とパスワードです」という使い方をしていないでしょうか？

共有パスワードには大きな問題があります。誰かが退職しても、その人はパスワードを知っています。

では、そのたびにパスワードを変更しているのでしょうか？

さらに、複数人で同じアカウントを使っていると、何か問題が起きたときに、「**誰が操作したのか分からない**」という状態にもなります。

可能なサービスでは一人ひとりにアカウントを発行し、多要素認証なども活用しましょう。

## 問診 4 会社の Wi-Fi、最後に見直したのはいつですか？

会社の Wi-Fi も「つながっているから大丈夫」と放置されやすい設備です。

例えば、Wi-Fi を設置したのは 7 年前。パスワードも 7 年前から同じ。退職した社員も知っている。以前来た業者にも教えた。来客にも教えたことがある。こんな状態になっていないでしょうか？

できれば、**社内で使う Wi-Fi と来客用 Wi-Fi は分けることをおすすめ**します。

また、Wi-Fi ルーターやアクセスポイントもコンピューター的一种です。古すぎる機器を使い続けていないか、メーカーのサポートが終了していないかなども確認しておきましょう。

## 問診 5 バックアップから、実際にデータを戻したことがありますか？

「バックアップしていますか？」と聞くと、「毎日やっています！」という会社は増えました。

しかし、もう一つ質問してみましょう。「そのバックアップから、実際にデータを戻したことがありますか？」

ここで「……ありません」と答える場合が多くあります。バックアップは、取ることが目的ではありません。**必要になったときにデータを戻すことが目的**です。

バックアップ先のディスクが故障していた。何か月も前からバックアップ処理が止まっていた。必要だと思っていたフォルダがバックアップ対象に入っていなかった。いざ復元しようとしたら方法が分からなかった。

こうした事態を防ぐためにも、定期的にバックアップの状態を確認し、**実際に復元できるかテストすることが大切です**。

## 問診 6 「クラウドだから安心」と思っていないませんか？

最近はデータをクラウド上に保存する会社も増えています。

確かにクラウドは非常に便利です。しかし、「クラウドにある＝絶対に消えない」という意味ではありません。

例えば、同期型のサービスでは、パソコン側で誤って削除したファイルがクラウド側にも反映されることがあります。アカウントが不正利用される可能性もあります。

サービスごとの履歴・復元機能や保存期間を確認し、本当に重要なデータについては、「もし消えたら、どうやって戻すのか？」まで考えておきましょう。

## 問診 7 ドメインやホームページ、誰が管理していますか？

意外と忘れられやすいのが、会社のドメインやホームページの管理情報です。

「ホームページは制作会社に任せています」それ自体は問題ありません。では、会社のドメインはどこで契約していますか？更新料金は誰が払っていますか？管理画面の ID とパスワードは誰が持っていますか？登録されているメールアドレスは現在も使えますか？担当していた社員が退職したらどうなりますか？

ドメインは、ホームページだけでなく会社のメールにも使用されている場合があります。

更新できずに失効すると、ホームページやメールに大きな影響が出る可能性があります。

「業者に任せているから知らなくてもいい」ではなく、最低限の契約先と連絡先だけでも会社で把握しておきましょう。

## 問診 8 サーバーや NAS、UPS は何年前のもの？

パソコンは買い替えていても、サーバーや NAS、ネットワーク機器は 10 年近く使っている。そんなケースもあります。

特に注意したいのが、データを保存している HDD や SSD などのストレージです。これらは消耗品であり、いつまでも使えるものではありません。

そして、もう一つ忘れられやすいのが **UPS（無停電電源装置）** です。停電時にサーバーなどへ一時的に電力を供給してくれる装置ですが、中に入っているバッテリーには寿命があります。「UPS があるから停電しても大丈夫」と思っていたら、肝心のバッテリーが劣化していた。これでは意味がありません。機器の導入年月や交換履歴も記録しておくとう安心です。

## 問診 9 「〇〇さんしか分からない」になっていませんか？

中小企業で特に注意したいのが、IT の属人化です。

「ネットワークのことは〇〇さんしか分からない」「サーバーのパスワードは社長しか知らない」「ホームページは辞めた社員が管理していた」「バックアップの戻し方は業者しか知らない」

もし、その人と突然連絡が取れなくなったらどうなるでしょう？

最低限、●利用している IT サービス ●契約している業者 ●管理者 ●機器の情報 ●重要なアカウント ●バックアップ方法 ●トラブル時の連絡先などは整理しておきましょう。

もちろん、重要なパスワードを誰でも見られる Excel や紙にそのまま書いておく、という意味ではありません。

**何を使っていて、誰が管理していて、困ったとき誰に聞けばいいのか**を会社として把握しておくことが大切です。

## 問診 10 IT が止まったときの連絡先・対応方法が決まっていますか？

会社の業務で使っている IT（メール・サーバー・業務システムなど）が明日の朝突然使えなくなったとき、「誰に連絡し、どうやってデータを戻し、何時間で業務を再開できるか」を具体的にイメージできるでしょうか？

☑ インターネットが使えなかったら・・・

☑ メールが使えなかったら・・・

もし、明日の朝から

☑ ファイルサーバーが壊れたら・・・

☑ 販売管理システムが起動しなかったら・・・

☑ ホームページが消えたら・・・

☑ 会社のパソコンがランサムウェアに感染したら・・・

「誰に連絡しますか？」

「どうやって復旧しますか？」

「復旧にどこくらいの時間がかかりますか？」

パッと手順や連絡先が思い浮かばないシステムこそ、会社が今すぐ見直すべき「隠れた IT リスク」です。

会社の IT は、普段問題なく動いていると存在を意識しません。しかし、ひとたび止まると、仕事そのものも止まってまいります。だからこそ、IT にも人間と同じようにトラブルが起きる前に、まずは「健康診断」が必要です。小さな点検から始めるだけでも、会社の IT 環境は変わります。自社だけでは分からない項目があれば、ハンジャ・ネットワークスが会社の IT 環境と一緒に確認します。お気軽にご相談ください。

# 本物そっくりに泳ぐ「ペンギンロボット」が人気 動物園の新しい挑戦

## 動物園に、なぜかロボットが仲間入り

和歌山県白浜町にあるレジャー施設「アドベンチャーワールド」で、ちょっと変わった人気者が話題を集めています。

その名も「ペンギンロボット」。

プールを気持ちよさそうに泳ぎ、羽を動かし、脚で器用に方向を変え、時には口を開けて愛嬌を振りまく、見た目も動きも本物そっくりで、家族連れの子どもたちが夢中で手を伸ばすほどの人気ぶりです。

この施設には 120 種 1600 頭もの本物の動物たちが暮らしており、決して「本物がないからロボットで代用している」わけではありません。それなのに、**なぜあえてロボットを作ったのでしょうか。**



## 表面はウエットスーツと同じ素材

驚くのは、その作り込みの細かさです。ロボットの表面には、ウエットスーツにも使われる合成ゴム「ネオブレン」が使用されています。ペンギン特有の羽根の質感を再現するために、特製の塗料を塗った上から、つまようじで一本一本細かい切り込みを入れて筋の模様をつけているというのですから驚きです。

動きについても、**実際に施設でペンギンの世話をしている飼育員が、日々の生態観察をもとにアレンジを加えながら作り上げています。**モーターで駆動し、ラジコンの無線操作で動かす仕組みです。

担当者は、もちろん本物の生きた動物を見てもらうことが一番望ましいとしながらも、ロボットには施設の外でも活動できるという利点があると説明しています。動物園という限られた場所を飛び出して、イベント会場や別の施設などでも活躍するため、**より多くの人に動物への関心を持ってもらう「入り口」としての役割**が期待されているのです。

## テクノロジーと動物への愛情が融合

最初は「動物園にロボットなんて」と違和感を覚える人も少なくないかもしれませんが、しかし、その裏側には、動物を長年見つめてきた飼育員たちの観察眼と、精巧な技術、そして**動物たちへの深い愛情**が詰まっています。テクノロジーの進化が、人と動物の新しい関係を築ききっかけになっているのかもしれません。

技術と生き物への愛情が組み合わさることで生まれた、ちょっとユニークな挑戦。動物園という場所の可能性を、また少し広げてくれる出来事と言えそうです。

## 見る人にも新しい楽しみ方が

こうしたロボット動物の登場は、来園者にとっても新しい楽しみ方を生み出しています。本物の動物は気分やコンディションによって思うように姿を見せてくれないこともありますが、ロボットであれば安定したパフォーマンスをいつでも楽しめるという利点もあります。また、本物と見分けがつかないほどの完成度を目の当たりにすることで、逆に「本物の動物はどんな仕草をするのだろう」と興味を持つきっかけにもなっているようです。

次に動物園や水族館を訪れる機会があったら、**目の前にいるのが本物か、それとも最先端の技術で作られたロボットか**、じっくり観察してみるのも楽しいかもしれません。

## 世界に広がる「ロボット動物」

### イルカからナマケモノまで ― 世界が試みる新しい展示

ペンギンロボットのような挑戦は、いまや世界中の展示施設や研究機関でも大きな潮流となりつつあります。

例えば、アメリカのエッジ・イノベーションズ社が開発した「リアルなロボットイルカ」は、本物と見分けがつかない滑らかな泳ぎとリアルな質感を持ち、水族館への導入が進められています。イルカショーの商業利用に伴う動物へのストレスや倫理的な課題を背景に、「本物を拘束せずにショーの感動を提供する」という選択肢として、世界中の施設から大きな注目を集めました。

また、アトランタ植物園では、ナマケモノの動きを模したロボット「スロースボット（SlothBot）」が導入されています。木々に渡されたワイヤーをゆっくりと移動しながら、気温や湿度、絶滅危惧種の生態系データを長期間観測する役割を担っています。動きをリアルに模倣するだけでなく、本物の動物の「エネルギー効率の良さ」まで応用した、環境保全のための革新的なアプローチです。

### 「命の代替」ではなく「可能性の拡張」

世界で試みられているこれらの事例に共通しているのは、**ロボットを単なる「生き物の代用品」として捉えていない点**です。

本物の動物では難しい過酷な環境での調査、移動による負荷が大きい外部イベントでの出張展示、さらには来園者が安全に触れ合える体験型学習など、ロボットだからこそ果たせる役割が存在します。

「動物に負担をかけずに魅力を伝える」「環境保護のデータを集める」といった目的のためにテクノロジーを融合させる試みは、展示の現場だけでなく、人と自然の関わり方そのものをアップデートする力を秘めています。



### 技術が紡ぐ、人と生き物の新たな未来

テクノロジーの進化が提示する最大の未来像は、「人間中心の都合」から「命をリスペクトする共生」へのパラダイムシフトです。

「本物を拘束してショーを見せる」時代から、「ロボットの力を借りて動物の自由を守りつつ、人間も深く学ぶ」時代へ。科学技術は決して生き物を排除したり代用したりするためのものではなく、生き物たちの尊厳を守り、彼らが野生本来の姿で生きられる環境を残すための「優しさの基盤」として機能し始めています。

本物の命が持つ圧倒的な尊さと、それを愛する人間の知恵が生み出した最先端のテクノロジー。この2つが手を取り合う未来では、私たちが生き物に向ける眼差しはより深く、温かいものへと進化していくはずです。

テクノロジーがひらく扉の先には、人間とあらゆる生命が互いを尊重し合いながら共に生きる、あたたかな未来の景色が広がっています。

飼育員の眼と最先端の工学が手を取り合って生まれた「ロボット動物」たち。彼らは展示の可能性を広げるだけでなく、本物の動物たちの健やかな生活を守るポテンシャルも秘めています。

便利さのためではなく、命を守り理解を深めるために使われるテクノロジー。そんな温かい技術のあり方に触れることで、日常の風景も少し違って見えてくるかもしれません。未来の動物園が見せるユニークな挑戦から、今後も目が離せそうにありません。



# OKINAWA 検定

～あなたの「沖縄通度」を今すぐチェック！～

## Q1

漢字と読み仮名を正しく組み合わせてください。

今帰仁

東風平

保栄茂

手登根

為又

根謝銘

勢理客

西武門

びーまた

いんじゃみ

こちんだ

にしんじょう

びん

てどこん

なきじん

じっちゃく

## Q2

オスのシーサーはどっち？

左



右

## Q3

世界遺産はどれでしょう？

守礼門

識名園

万座毛

## Q4

沖縄の民謡で使われていない音階は  
どれとどれ？（2つあるよ！）

ド

レ

ミ

ファ

ソ

ラ

シ

## Q5

魔物（マジムン）が石敢當に  
ぶつかるとうなる？

行く方向が変わる

粉々に砕け散る

煙となって消えてしまう



## 解答はこちら

Q1 今帰仁：なきじん 東風平：こちんだ 保栄茂：びん 手登根：てどこん 為又：びーまた 根謝銘：いんじゃみ  
勢理客：じっちゃく 西武門：にしんじょう

Q2 右 Q3 識名園：2000年にユネスコ世界遺産（「琉球王国のグスク及び関連遺産群」）に登録されました。

Q4 「レ」と「ラ」：4番目と6番目の音（レとラ）が抜けているため、「二六抜き音階（にろぬきおんかい）」とも呼ばれます。

Q5 粉々に砕け散る：マジムンはまっすぐ（直線方向にしか）進めない性質を持っています。そのため、T字路や三叉路の突き当たりで曲がりきれず、そのまま家に入ってきてしまいます。  
これを防ぐために置かれるのが魔除けの「石敢當」であり、当たったマジムンは粉々になってしまうと信じられています。